市民の知る権利より大事なもの？

県域水道一体化における「情報公開」を求める請願は不採択

12月定例会に県域水道一体化における「情報公開」を求める市民からの請願書が提出され、塩見は紹介議員のひとりとして経済建設委員会で請願の趣旨や意図について質疑を受けましたが反対多数となり、本会議でも１票差で不採択となりました。

■県域水道一体化における「情報公開」を求める請願の賛否（吉村議長は採決に加わらず。経済建設委員会委員は太字。）

賛成 １０	**浜田**・竹内（以上　日本共産党）、**恵比須**・成田・山下（以上　生駒市議会公明党）、伊木・神山・加藤・中尾・**塩見**（以上　無会派）
反対 １１	**福中**・白本・片山・**改正**・森・**橋本**（以上　凛翔絆）、**梶井**・辰巳・芦谷（日本維新の会）、中嶋・高杉（以上無会派）

協議会は第２回目から非公開

昨年４月１日に「奈良県広域水道企業団設立準備協議会」（法定協議会）が設置され、７月21日開催の第１回協議会こそ会議は公開されましたが、２回目以降は非公開になっています。請願は、その公開を求めるものでした。

今後、参加自治体の議会は企業団設立の是非を議決しなければならず、法定協議会の協議過程の情報はその判断に必要なはずで、反対する理由などないと思いましたが、結果は述べたとおりです。

後味の悪い審議プロセス

委員会審査では、山下知事への批判ではないか？という質疑もありましたが、知事との関係性にとらわれ、市民の知る権利を第一に考えていただけなかったのは残念でした。また、該当箇所も指摘することなく「事実確認がされていない内容が記載されていると思う」とだけ述べて反対されるなど、質疑すら避けられる場面もありました。

本会議採決にあたっても反対討論もなく、理由はわからないまま後味の悪さばかりが残りました。これをご覧になった請願者はじめ市民の方々は、結果以前にプロセスに問題があると思われたのではないでしょうか。

“ふりだし”に戻る

教育委員の定数、8人から元の4人へ

８年前、小紫市長は「教育改革」と称して教育委員の定数を「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定める４人から８人にするとして「生駒市教育委員会の委員の定数を定める条例」を制定しました。社会教育、障がい児教育、不適応児童生徒の問題など、それぞれに精通した方々の意見を幅広く聞きたいというのが当時の提案理由でしたが、法が求める教育委員は「人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもの」です。各分野の専門家ではなく総合的見地に立って教育を語れる方であるべきなのに、市長は教育委員会をご自身の附属機関であるかのような勘違いをしているのではないかとも思われ、釘をさしてきました。

そうして選任された教育委員の中には、市長の政治活動に関する SNS の投稿に対して「いいね！」を付すなど、教育委員としての自覚に欠けるのではないか？と思われる方もおられ、眉を顰めたくなることもしばしばでした。

今回、定数を元の４人に戻す提案理由も教育政策課の設置とその取組によって多様な意見を聞くしくみが整ったためということですが、教育委員会の事務局と教育委員の役割はまったく異なります。事務局の体制や取組で教育委員の人数を減らしても問題なくなったのであれば、もともと不要な人数だったということでしょう。もちろん議案には賛成しました。

茶論（サロン）・de（ド）・403（しおみ）

日時：3月3日(日)　13:30～16:30

場所：南コミュニティセンターせせらぎ
　　セミナー室　301

参加費無料。
途中入退室も
可能です。

新年度(令和６年度)予算をチェックしませんか？

予算策定の状況は右の QR コードからご覧いただけます。２月７日現在、予算編成方針、予算要求の概要、財政課長査定が掲載されています。その後、総務部長査定、市長査定、確定した予算案等が２月22日までには順次掲載される見込みです。

編集後記

●年明け早々に能登半島を襲った震災でお亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また救助活動に当たられている関係機関職員の皆さまやボランティアの皆さまに感謝申し上げます。

●今号は市民の皆さまの生活には直接関係ない行政内部の事務の話題が多く、ご関心をもってお読みいただくのは難しいなぁと思いながらニュースを作成しておりました。しかし公正な行政運営がなされなければ、市民の信頼を得られず、まちの「格」を下げることになります。次世代に誇れるまちを引き継ぐことは私にとって大事なテーマで、皆さまにもぜひともお知りおきいただきたいことです。ご一読いただければ幸いです。

塩見　牧子

発行責任者：塩見牧子
〒630-0213　生駒市東生駒 1-215-402　TEL:090-3057-7406　FAX:0743-74-8518
✉：shiomi753@yahoo.co.jp　Web：http://shiomimakiko.com

blog　Facebook　X（旧 Twitter）　バックナンバー　ご意見はこちら

“まっすぐ”が通る生駒に！

塩見（しおみ）まきこ

市議会 newsletter　2024 年／冬号

〈春を感じる〉一足早い春の訪れを楽しめる河合町馬見丘陵公園の啓翁桜　撮影：山野マサ子

Contents

Page2　組織マネジメントに問題あり～生駒市行政組織条例の改正～
Page3　市の附属機関は適正に設置されているか？　／　反省はしないけど「改める」！？
Page4　市民の知る権利より大事なもの？～県域水道一体化における「情報公開」を求める請願は不採択～　／　“ふりだし”に戻る～教育委員の定数、８人から元の４人へ～
茶論・de・403　／　編集後記

※各記事の見出しの QR コードからより詳しいブログ記事をお読みいただけます。

塩見牧子（しおみまきこ）　1965 年３月８日大阪生まれ。1972 年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て 2007 年４月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

塩見まきこのプロモーションビデオ(PV)
「“まっすぐ”が通る生駒に！」